

ちさと会新代表挨拶

二十九回生 堀田 暁生

みなさん、こんにちは。二十九回生の堀田です。今、奥田さんから紹介がありましたように先輩の山本平八郎さんから、自分の後を継いでくれと言われ、またほかの人たちからも強く勧められ、やむなく引き受けた次第です。

私は千里山に生まれてからずっと住んでおりまして途中7年間、近くの下新庄と言う所にいた事がありますが、ほぼ千里山にいます。

ちさと会は、平成十年位に、8期生の武田卓先生が中心となって始められた、と言うふう聞いておりません。そして、だいぶ高齢になったという事で、後を山本平八郎さんに託すという事で引き継がれて、その後私と言う事になっております。

その武田先生は、今年の五月に亡くなられました。九十いくつだったと伺っています。吹田一中で教えられていたので、教えを受けられた方も沢山おられると思います。

千里山のこの地区は第三連合自治会と言い、千里山西一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、竹園町、そのあたりを含んでいます。駅の西側が中心です。その中心部をちよつと映してもらっています。現物も持って来ておりまして、それは入口の所に掲示してもらっておりますので、興味のある方はご覧いただいたら良いと思います。

千里山の特徴は噴水があることですが、噴水は、かつては五つ程ありました。その場所も最近わかかってくるようになりました。写真の噴水は第一噴水（下の噴水）で、昭和四十七年の写真ですが、円形です。今は、上に乗っかっているものがちよつと違いますが、防火用の貯水槽を作った関係で大きく変わっております。噴水の外観、形状はそれ程変わっていないのですが、皆さんは第二噴水をご存知と思いますが、第二噴水がどういう格好をしていたか覚えておられますでしょうか？

ひよつとして第一噴水と同じ様に円形だと思われているのではないのでしょうか。実は第二噴水は八角形になっています。八角形と言っても四角形の四隅の所が斜めに区切られていますので、それで八角形なんです。案外気が着いていないところです。

奥田さんの方から最近の千里山の事についてしゃべって欲しい、というふうに言われましたので、増田さんの作られたこのパワーポイントを見ながらちよつと説明して行きたいと思えます。今、映っておりますのは、昭和五十一年の千里山の住宅地図です。



現在の第一噴水は、こんな格好をしています。噴水の周りの植栽は木立の下の方が透視して見える、という、格好になっています。

さて今映っていますのが千里山の市街地の現在の様子です。随分変わっています。



駅の東側、ローレルコートとか見えています。かつての公団が五十年経ち、老朽化した為に、一部は残っていますが、ほとんどが建て替えています。そして駅の東側すぐの所に商業施設が作られまして、BVI千里山と言いますが、そこにコミュニティセンターが出来まして、かつての千二小学校の校区を地域とするコミュニティ活動を行っています。そこで昨年は「ちさと会」の総会を行いました。駅東側の再開発事業のうち商業施設ができたということで、このコミュニティセンターで記念の式典を行っています。千里山の活性化の一つの原点となっているという事が言えると思います。

千里山神社のお稲荷さんですが、ここにはかつて貯水槽がありました。貯水槽の上に行くと、大阪の方迄はるかに良く見えたのですが、その貯水槽は今はありません。神社とほぼ平面化しています。

ちさと会では「ちさと」という雑誌を作っております。その三号に千里山神社の事を書いておりまして、千里山神社には何本鳥居があったか、という疑問を書いたところ、さまざま、奥田さんから「二本あった」と回答をもらいました。石の鳥居が一つ、それから大小の朱塗りの木製の鳥居が二つあったそうです。それ

は、奥田さんの話では、台風の際に木製の鳥居は倒れてしまった、という風にお聞きしました。

千里山の変貌という事でお話しますと、最近の千里山は世代交代が進んでおりまして、まあ遺産相続とかいう事で、千里山はだいたい大きな区画の家が多かったのですけれども、相続をするとその土地が半分とか三分割とか、多い時には五つに分かれるという風な現状になっています。一つの区画が五百坪とか三百坪とか大きな区画があった訳ですけども、そういった家が三つとか四つとか多い時には五つに分かれて相続されている、という事です。

それから住宅化も進んでおりまして、以前は竹園町とか、郊外学園と言っておりましたが、その辺りは家が余り建っておらず、竹やぶが多かったのです。今ではすっかり見違える位にマンションが一杯建っています。これは一つには、万博の時に地下鉄の御堂筋線が延伸されました、千里中央まで行った為に、緑地公園という駅が千里山のすぐ西側に出来まして、非常に利便性が高いので、マンションが一杯建ち並びました。

ですから、かつて竹やぶとか、そういう場所が、ほとんど高いマンションに変貌しております。

その勢いは千里山西五丁目、六丁目、それから南千

里へと、いう風に北へ延びていっていると思います。



それから千里山の東側、昔は千里山の駅から小学校の間、右側には田んぼがあって、左側に山という、情景だったんですが、それはすべてもう過去の話になりまして、最近新しい大きな道路が出来た事もあるもので、ほとんど田んぼというものは無くなっています。

佐井寺にかけてもマンションやら分譲住宅が盛んに作られております。松ヶ丘とか、高塚とかそういう所も高層のマンションが建っています。

ただ、一部、佐井寺の中心部だけが、昔の様相を留めております。伊弉諾神社とか、佐井寺とか、皆さん良くご存知だと思うのですが、その一角だけがタイムスリップした様な形で残っています。

佐井寺は元々道が狭くて、自動車が入れない、そういう所も影響しているかと思われます。ただそうは言っても、佐井寺のその集落の少し離れた所に大きな道路が走っておりまして、まもなく千里山の駅前と吹田の駅前がバスでつながると聞いております。そうなるとうまでの佐井寺の良い風景というのも無くなってしまうかと思われま。佐井寺には一、二か所位、田んぼがあります。溜池も若干は残っています。

という事で、千里山は随分変わってきているのですが、以前あった店でなくなったところも多数あります。

すけどそこありません。文化堂の跡は三井のリハウス不動産になっていきますし、荒物屋さんの跡はセブンイレブンになっています。



例えば、田村書店です。千里山が一号店だったので、開発工事のときに、店を閉められました。それで千里山から書店が消えてしまいました。

散髪屋さんがまだ残っています。阿久根理髪店とそれから三木理髪店で、この二つは昔と同じ場所で、今でも営業しています。

千里山の駅から噴水を通ってまっすぐ行く道をレッチワース（千里山のモデルとなったロンドン郊外の都市）道路というふうに言ってます。その名は十何年前に、公募で付けられたのですが、その噴水と駅の間にいるいろいろなお店がありました。それは先ほどの昭和五十一年の地図に出ているのもあれば、無いのもあるのですが、例えばガラス屋さんがあったのを覚えておられるでしょうか。千里山の二十年代、三十年代というのは台風が良く来まして、それでガラスがよく割れた、その為にガラス屋さんが修繕した、近藤ガラス店と言います。そういうのがありました。

そのガラス店の横に大野屋というお寿司屋さんがあったり、あさひクリーニングというクリーニング屋さんがあったりしました。そのあたりは今はありません。それから皆さんよくご存知の文化堂も今はありません。文化堂の向かいに植田という荒物屋さんがあったんで

その坂の途中に、魚伊という仕出し屋さんがありました。法事とかそういう時にはここに頼むと仕出しをしてくれたのですが、これもビルに変わっています。それからお寺に行く所には銀水という寿司屋さんがあったのですが、それももう無くなっています。

千里山には飲食店というのが余り続かないという気がします。噴水の横にはかつて佐井福がありまして、佐井福は駅前に中央市場を作ったその中に入ったのですが、中央市場も今はマンションに変わっています。佐井福が経営しているマンションなんです。

それからその噴水の所の佐井福の跡には、始め喫茶店が出来たのですが、その内ケーキ屋さん、ユーハイムが店を出しました。しかしユーハイムもそのうちに無くなりまして、インド料理の店が出来ました。そのインド料理の店も一、二年しか持たなかったと思います。今はたこ焼き屋さんになっています。

その他にもいろいろとあるんですけども、このあたりで時間も無いので、おしまいにしたいと思います。もし何かあれば、お尋ねいただければ、わかる範囲でお答えしたいと思います。

どうもありがとうございました。

完